

JACET中国・四国支部 Newsletter

第16号

目次

1. 巻頭言	支部長 松岡 博信	pp.1-2
2. 2015年度秋季支部研究大会報告	大会実行委員長 寺嶋 健史	pp.2-3
3. 2015年度支部第3回役員会報告	事務局幹事 三宅 美鈴	p. 3
4. 2015年度支部研究会 第7回 OPP イベント報告	OPP 代表 岩井 千秋	p.4
5. 2016年度春季研究大会発表応募要領		p.5
6. 2016年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集		p.5-6
7. 事務局だより		p.6-7
編集後記		p.7
【重要】 ニュースレター (NL) 配信についてお願い		p.8

1. 巻頭言

中国・四国支部長 松岡 博信

中国・四国支部会員の皆様。明けましておめでとうございます。本年もどうかよろしくお願いたします。

さて、昨秋の10月24日(土)、JACET中国・四国支部秋季研究大会が松山大学にて開催されました。今回は、松山大学大学院

言語コミュニケーション研究会との合同開催であり、会場校である松山大学の大学院言語コミュニケーション研究科長の吉田美津先生および大会実行委員長の寺嶋健史先生には、大変にお世話になりました。おかげさまで、研究発表は12件を数え、広島工

業大学で開催されました春季研究大会（実行委員長 堀部秀雄先生）の12件と並び、年間計24件のご発表をいただいたこととなります。春季および秋季研究大会にて発表された先生方に心より感謝申し上げます。さらに、今回は、廣森友人先生（明治大学）に「動機づけ研究の観点から英語の学習指導を考える」という演題でご講演を頂きました。大変楽しいご講演であったとともに、動機づけ研究の最先端の情報や日頃の英語授業の改善に向けての多くのご示唆をいただきました。

このような本年度の春季・秋季研究大会の充実のおかげもあってか、今回の支部紀要投稿論文も多数あり、新・支部紀要編集長の平本哲嗣先生（安田女子大学）は嬉しい悲鳴を上げておられます。査読をお引き受けくださった先生方には心より深謝いたしますとともに、今後のご審査をどうかよろしくお願い申し上げます。

さらに、12月13日（日）には、安田女子大学にて支部研究会である OPP（Oral Presentation and Performance）が開催されました。私自身は所用で参加できなかったのですが、これについての詳しい報告は、OPP 代表である岩井千秋副支部長（広島市立大

学）にお任せしますが、県内の多くの大学から参加した学生たちが日頃の英語によるパフォーマンス練習の成果を発表するものであり、言わば、「協働学習（あるいは協働学修）によるオーラルプレゼンテーションの教育的効果」を示す絶好の機会であるとともに、学生たちにとっては、英語学習へのインセンティブとなっているイベントです。今回も大変ユニークで楽しい発表が多かったようであり、支部会員である指導者と学生たちとの、そして学生同士の協働学習が結実したものとなりました。毎年12月に開催されますこのイベントも年々盛んなものとなり、会員の先生方におかれましては、指導する学生を率いて、是非ともこの楽しいイベントにご参加いただければ幸いです。

最後になりますが、2016年度の支部研究大会は、春季が6月4日（土）に愛媛大学で、秋季が10月22日（土）に山口大学で開催される予定です。私たち中国・四国支部役員は、本年も一致団結して中国・四国支部活動の充実を目指して尽力する所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻、そしてご支援のほど、どうかよろしく願います。

（安田女子大学）

2. 2015年度秋季研究大会報告

大会実行委員長 寺嶋 健史

今年度の秋季研究大会は、10月24日（土）に愛媛県の松山大学において開催されました。今回は、松山大学大学院言語コミュニケーション研究会との共同開催でした。研究大会の前半は、13:00から研究発表が12件あり、2つの教室に分かれて行われました。

第1室では、(1)「Assessing the English-language needs of medical professionals in Shikoku」(Willey, Ian)、

(2)「OPP (Oral Presentation & Performance) イベントへの参加から得られた協働学習による教育効果—CLILの視点を取り入れた海上保安大学校の場合—」(二五義博)、(3)「マンガ教材を用いた世界諸英語への理解を深める英語教育」(馬場洗志)、(4)「Moodle と YASUDA SYSTEM の融合による e ラーニング・システム」(松岡博信)、(5)「英語の分節に関する一考察—閉鎖音/t/を音節境界の前

後に持つ例を中心にー」(小川直義)、(6)「日韓の中学校英語教科書における語彙およびリーダビリティ比較」(李受娟)の6件の研究発表がありました。

第2室では、(1)「L1意識化促進とL2誤出力予防の相関性ー「できた」の英語翻訳を事例としてー」(西谷工平・中崎崇・小田希望)、(2)「特別支援学級での外国語活動:評価に関する一考察」(中山晃)、(3)「言語活動におけるワーキングメモリの働きについてーリスニングとリーディングに焦点を当ててー」(藤村美希)、(4)「英語で教える英語の授業が学習者の教授言語の好みに与える影響」(岩中貴裕)、(5)「小学校教員養成課程の2年生と3年生の英語活動に関する意識調査」(田辺尚子)、(6)「英語指導力の高い小学校教員養成ー短期集中講座における実践ー」(江原智子)の6件の研究発表がありました。

16:00からの研究大会後半には、通常のJACET中国・四国支部研究大会には無いゲスト講師を招いての講演がありました。明治大学の廣森友人氏を迎え、「動機づけ研究の観点から英語の学習指導を考える」という演題で、英語学習者の動機づけに関して、具体的な事例を挙げながら非常にわかりやすく、理論と実践の両面からお話し頂きました。集まった約70名の聴衆は、廣森氏の親しみのある軽妙なトークに引き込まれ、あっという間の1時間でした。

17:30に閉会式で秋季研究大会が終了しました。

来年の春季研究大会は再び愛媛県、愛媛大学での開催を予定していますので、道後温泉に入り、愛媛を存分にご満喫下さいませ。

(松山大学)

3. 2015年度JACET中国・四国支部

第3回役員会報告

事務局幹事 三宅 美鈴

2015年10月24日(土)に開催された第3回支部役員会にて、2016年度の事業計画(案)および予算(案)について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

1) 春季研究大会

日程:2016年6月4日(土)

場所:愛媛大学 教育学部

(愛媛県松山市文京町3)

大会テーマ:未定

2) 秋季研究大会

日程:2016年10月22日(土)

場所:山口大学教育学部

大会テーマ:未定

3) Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会

日程:2016年12月11日(日) 予定

場所:未定

4) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』(第14号)

発行:2017年3月31日(予定)

・支部ニューズレター

発行:2016年7月30日(第17号)、2017年1月10日(第18号)(予定)

4. 2015年度支部研究会 OPP イベント報告

OPP 代表 岩井 千秋

OPP (Oral Presentation & Performance) 研究会発足から早8年、今年はOPP研究会にとってもっとも忙しい年でした。まず3月に昨年度のOPPイベント報告書が完成、続いて6月には支部大会(広島工業大学)で研究発表、8月の年次国際大会(鹿児島大学)では研究発表とポスターセッションを行い、そして12月13日(日)には7回目となるOPPイベントを開催しました。昨年度まではこの発表イベントを中心にもっぱら実践面に力点を置いて活動してきましたが、昨年度、科研費(基盤研究C、代表は広島工業大学の三熊祥文先生)に採択されたことから、徐々に研究としての活動にシフトしているところです。

さてそのOPP発表イベントですが、昨年に続き、今年も安田女子大学の「まほろば館」3階の講堂ホールを使わせていただきました。この会場のことは昨年ニューズレターでもご紹介しましたが、機能性、利便性、快適性のいずれもOPPには最適で、今回も盛大にこのイベントを挙行させていただくことができました。安田学園の関係者の皆様に心からお礼申し上げます。とりわけ、同大学の平本哲嗣先生には昨年同様、このイベントの開催に向けてご尽力いただきました。先生のお力添えをなくしては今年のイベントの開催は望むらくもありませんでした。厚くお礼申し上げます。

今年のイベントですが、参加数は7大学で、これはほぼ例年どおりでした。しかし、各大学の参加者数が多めであったことから、学生パフォーマンス数はこれまでで最高の80名となりました。今年もバラエティーに富んだ発表で、午前11時から午後3時半(間に50分の昼休憩)の時間があっという間に過ぎたように感じました。発表のクオリティーも年を経るごとに高まっていることを実感します。それから、今年には修道大学の Jim Ronald 先生が新たにエントリーされ、学内で英語を使える iCafé を開設されたことから、このプロジェ

クトについて学生さんが発表されました。来年も是非一緒願いたいものです。最後の交流会も随分の盛り上がりようでした(あまりの盛況に、学生の皆さんがいつまでも帰ろうとせず、片付けに困ったくらいです(笑))。来年もまたこの会で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

最後に各大学の発表テーマ等を出演順にお伝えしておきます(以下、敬称略。原稿は平成27年12月末受理)。

(広島市立大学)

・開会式

①安田女子大学(田辺尚子、発表者16名)

Merry Christmas to You!

②広島市立大学(岩井千秋、発表者12名)

Days and Nights of the Olympic Games

③県立広島大学(吉本和弘、発表者12名)

Alice's Adventures in Wonderland Revisited

④広島工業大学(三熊祥文、発表者12名)

HIT-Chants 2015 (他original speeches など)

⑤海上保安大学校(二五義博、発表者9名)

Look For JAPAN COAST GUARD!!

⑥修道大学(Jim Ronald、発表者6名)

iCafé Projects: Putting English into a Social Learning Space

⑦広島国際大学(山中英理子・三宅美鈴、13名)

Welcome to the World of Shakespeare: King Lear, Romeo & Juliet

・閉会式、懇親会



(交流会の記念撮影)

5. 2016年度春季研究大会発表募集要領

2015年10月24日(土)に開催された第3回支部役員会にて、2016年度春季研究大会について話し合いが行われましたので、研究発表募集についてお知らせいたします。

支部春季研究大会

日時：2016年6月4日(土)

場所：愛媛大学 教育学部

(愛媛県松山市文京町3)

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語

b. 種別 (Style) : 自由研究発表、実践報告、事例研究など

c. 氏名 (Name) :

d. 研究領域 (Research Area) :

e. 概要 (Abstract) : 目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など日本語の場合は600字以内、英語の場合は250 words以内とする。

f. 所属 (Affiliation) :

g. 使用機器 (Equipment needed) :

h. 連絡先 (Contact Address) : メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2016年5月23日(月)

午後11時59分まで

■申込先

下記支部HPの申込フォームをご利用ください(発表、および懇親会への参加申込ができます)。

<http://ws.formzu.net/fgen/S24955388/>

C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員ML、および支部HPでお知らせします。(支部会員MLへのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先

事務局幹事 三宅 美鈴

m-miyake@it.hirokou-u.ac.jp

6. 2016年度『JACET中国・四国支部研究紀要』投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究発表を掲載する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内で開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

■投稿原稿締め切り：10月末

■審査結果通知：12月末

- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

送付先：紀要編集委員会委員長
平本哲嗣(安田女子大学)
E-mail: hiramoto@yasuda-u.ac.jp

7. ～事務局だより～

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのことお慶び申し上げます。

さて、前回のニューズレターで平本先生より事務局のお仕事を社会的責任として捉えられていること、そして教育・研究活動の基盤維持に伴う負担を会員の皆様と共有することの重要性など、大学業務以外での仕事の心構えや学会のあり方などについての貴重なご意見をいただきました。全くそのとおりでと思います。その意思を引き継ぎ、与えられた任務をしっかりと果たして参りたいと思います。

平本先生には2011年6月より2015年6月まで事務局幹事を務めていただき、誠にありがとうございました。三宅は2006年から2010年まで幹事を行い、今回は5年ぶりの復帰となります。当時は社団法人への移行手続きなど不慣れな事務的な仕事に追われており、何かとご迷惑をおかけしたかと思えます。今回は、今年と来年の2年間というお約束でお引き受けいたしました。微力ながら、一生懸命、務めを果たして参りたいと思っておりますので、皆様のご協力とご支援、そして寛容な心で見守って頂きたくお願い申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2015年10月から2015年12月までの新入会員2名をご紹介します。

★新入会員紹介★

Armitage, Kristin (愛媛大学)
李 受娟 (安田女子大学大学院生)
(敬称略)
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

2016年度の支部人事および本部運営委員を改めてお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしく願いいたします。

★2016年度支部人事★

【支部役員】

支部長 松岡博信 (安田女子大学)
副支部長 岩井千秋 (広島市立大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)
*三宅美鈴 (広島国際大学)
高橋俊章 (山口大学)

支部会計担当者
田辺尚子 (安田女子大学)

支部研究企画委員
五百蔵高浩 (高知県立大学)
池野 修 (愛媛大学)
岩中貴裕 (環太平洋大学)
上西幸治 (広島大学)
折本素 (愛媛大学)
角山照彦 (広島国際大学)
小山尚史 (岡山大学)
高垣俊之 (尾道市立大学)
高橋俊章 (山口大学)
瀧由紀子 (松山大学)
田中博晃 (広島国際大学)
田辺尚子 (安田女子大学)
田淵博文 (就実大学)
寺嶋健史 (松山大学)
鳥越秀知 (香川高等専門学校)
中山晃 (愛媛大学)

二五義博 (海上保安大学校)
西田 正 (福山大学)
平本哲嗣 (安田女子大学)
堀部秀雄 (広島工業大学)
三熊祥文 (広島工業大学)
三宅美鈴 (広島国際大学)
山川健一 (安田女子大学)
ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 松岡博信 (安田女子大学)
岩井千秋 (広島市立大学)
総務委員会 (支部事務局幹事)
三宅美鈴 (広島国際大学)
財務委員会 (支部会計担当者)
田辺尚子 (安田女子大学)
国際大会組織委員会本部
山川健一 (安田女子大学)
『JACET 通信』委員会
鳥越秀知 (香川高専)

【編集後記】

昨年中はいろいろとお世話になりありがとうございました。皆様のお陰をもちまして、年2回のニューズレターを無事お届けができています。引き続きどうぞ、よろしくお願いいたします。

昨年末のある忘年会の日、大学の駐車場に停めていた私の車が何者か(おそらく学生)に右前の角をすするっと擦られていました。がっかりした気分です。忘年会に参加しました。忘年会では、恒例のお楽しみ抽選会あり、これまで私は最下位の10等賞にも当たったことはありませんでした。ところが、今回は、何と一等賞(一人だけ)があたり豪華厚切り牛肉ステーキ300gをいただきました。人生プラスマイナスゼロなんだな〜とつくづく感じた年末でした。調子に乗って宝くじも購入しました。人間欲をかくといけないとわかりつつも……。

学術出版委員会紀要担当
平本哲嗣 (安田女子大学)
学術出版委員会
平本哲嗣 (安田女子大学)
セミナー事業委員会 サマーセミナー担当
田淵博文 (就実大学)
研究促進委員会
岩井千秋 (広島市立大学)
国際交流委員
堀部秀雄 (広島工業大学)
大学英語教育学会賞運営委員会
池野 修 (愛媛大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★
『支部紀要』第14号
2016年3月31日刊行(予定)
『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』
2016年7月30日(第17号)発行(予定)

皆様にとって、今年も良い年でありませうよう、心よりお祈りしております。引き続きどうぞ、よろしくお願いいたします。



(M.M)

【重要】 JACET(大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長松岡 博信(安田女子大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

1. 支部 HP

(<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。

2. 入力フォームのサイトのページ

(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。

3. ウェブの入力フォームに下記の情報を入力する。

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

すでに登録している

希望する

希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の平本 (hiramoto@yasuda-u.ac.jp) までお問い合わせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第16号

2016年1月10日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 松岡 博信)

編集 : JACET 中国・四国支部 三宅 美鈴

発行所 : 〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36 広島国際大学 心理科学部

コミュニケーション心理学科 三宅 美鈴

連絡先 : Tel:0823-70-4563 FAX:0823-70-4544 E-mail: m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp